

# 開成中 - 対策法

## 理科・社会（各々85点/60分）

### 【1】【 2006年出題内容 】

理科ではほぼ毎年実験器具の扱い方や記述を求める設問が出題されます。目新しい問題が出題されても、問題文を分析することで解答できます。グラフや計算問題が苦手な人は、城北中の過去問がよい訓練になるでしょう。

一方、社会では東京に関する問題、現代日本の諸問題の歴史的経緯についての理解、略図を描かせる設問などが出題されます。なお、一般的に言えることですが、地理については日本地図を正確に再現できるようにすることが絶対条件です。

### 【2】【 傾向 と 対策 】

理科にしても社会にしても、穴をなくすこと、基本的理解を確実にしておくことが必要です。そのためには、体系的な問題集を繰り返し読み込むことが王道です。塾のカリキュラムに追われているせいで、「理科・社会は2学期にまとめてやればいい」という人がいますが、それはとても危険な考え方です。1学期から、毎週2～3時間は苦手分野の復習にあてて、夏休みまでには穴を無くしておくべきです。2学期以降は、過去問演習、学校行事、模擬試験などでとても忙しくなるからです。

理科・社会が苦手な人は、まず使用教材を見直してください。塾でのプリント教材が山のように積み上げられている、というのでは自分の苦手分野を整理できていない証拠です。そこで、体系的な参考書・問題集を1種類決めて、それをコツコツと進めていくのです。体系的な参考書・問題集には次のようなものがありますので、参考にしてください。




教育開発出版  
「新小学問題集」  
(標準～応用)

















四谷大塚  
「予習シリーズ」  
(基礎～標準～応用)

日能研  
「メモリーチェック」  
(基礎～標準)



### 【3】【開成理科・社会 合格への道程】

 合格可能性 80%    
  合格可能性 50%    
  合格可能性

偏差値 (四谷)	51～55	56～60	61～65	66～70
君の学年				
5年生の2学期				
5年生の3学期				
6年生の1学期				
6年生の2学期				

開成の80%合格圏(4科)は、四谷大塚で偏差値70以上、センター模試で偏差値70以上、サピックスで偏差値64以上、が目安です。

開成の理社で合格点を取るためには、左の図の実線のように成績が伸びていくことが理想的です。これに対して、6ヶ月以上も点線のように偏差値が伸び悩んだままですと、初めは晴れマークでも、結局は雨マークになってしまいます。塾の宿題で手一杯だと泣き言は言ってもらえません。毎週理科・社会の学習時間を一定時間確保して、常に弱点補強を意識しましょう。